

平成19年度

第2回

# 「城里町 ふれあいの船」事業

in 北海道

午後3時 常北公民館で出発式  
出発式では、A班は石塚小学校の安藤淳君、B班では岩船小学校の南條峻君が参加  
者代表あいさつを行い、元気な城里町を出発しました。

● 第1日目

午後3時 大洗港着・乗船  
船事業を4泊5日にわたって実施しました。この事業は、北海道の雄大な自然の中での活動や船を利用した集団活動をとおして、自然とのふれあいや通常の学校生活では得られない貴重な体験をし、相互の心のふれあいを深め、心身ともに調和のある人間形成を図ることを目的とします。  
参加児童は、A班116人、B班87人で、合計203人でした。



B班

7月31日(火)～8月4日(土)  
【学校別班割り】  
石塚小学校、小松小学校  
北方小学校、沢山小学校  
七会東小学校、七会西小学校

A班

7月24日(火)～28日(土)  
【学校別班割り】  
石塚小学校、小松小学校  
青山小学校、古内小学校

町内の小学校6年生を対象に、第2回「城里町ふれあいの船」事業を4泊5日にわたって実施しました。この事業は、北海道の雄大な自然の中での活動や船を利用した集団活動をとおして、自然とのふれあいや通常の学校生活では得られない貴重な体験をし、相互の心のふれあいを深め、心身ともに調和のある人間形成を図ることを目的とします。

午後3時 常北公民館で出発式  
出発式では、A班は石塚小学校の安藤淳君、B班では岩船小学校の南條峻君が参加  
者代表あいさつを行い、元気な城里町を出発しました。

午後4時30分 大洗港着・乗船  
荷物の整理をしたあと、出港前にさつそく船中での最初の食事をとり、皆さんおいしそうに食べていました。



午前6時 起床  
レストランにて朝食



午前9時30分 はがき作成  
デッキ・ブリッジ見学班と交替に、自宅にはがきを書きまし。



午後6時30分 大洗港出港  
デッキから見送りにきた人たちに手を振り、離岸風景を楽しみました。



今年の5月に新しくなった洞爺湖火山科学館を見学し、ボランティアガイドの案内で西山火口を散策しました。噴煙が立ち込め、自然の驚異を学びました。



とのレクリエーションを楽しみました。

● 第2日目

午前9時30分 はがき作成  
デッキ・ブリッジ見学班と交替に、自宅にはがきを書きまし。



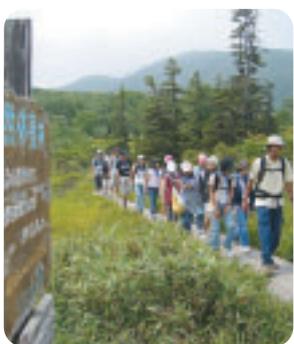
午後1時30分 苫小牧港到着  
下船後、バスに乗車して、洞爺湖へ向かいました。



午後6時

### 洞爺湖パークホテル天翔着

夕食会場ではご飯の歌を歌い食事を楽しみました。その後、夕べの集いでは各学校紹介を行い、部屋に戻った後に洞爺湖湖上花火を楽しみました。



・第3日目

午前6時 起床

レストランにてバイキング朝食

午前10時30分

二セコ神仙沼トレッキング

A班では霧の中、B班では天候に恵まれ、ガイドの案内で神仙沼までの神秘的な自然を観察しました。



午後3時 札幌市内散策

ボランティアガイドの案内で、旧道庁や札幌時計台等を見学しました。また、お土産等の買い物を楽しみました。

午後6時

### リゾートホテル東急

歩いて今夜の夕食会場、キラムビール園に行きました。生ラムジンギスカンをおいしく食べることができました。



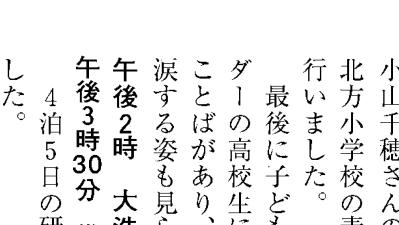
・第4日目

午前5時45分 起床

バイキング会場での朝食

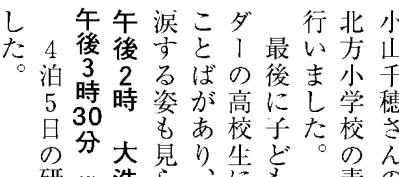
午前10時30分 旭山動物園到着

みんなが楽しみにしていた旭山動物園で、人ごみの中リーダーを中心に班行動を行いました。動物生態見学をしました。



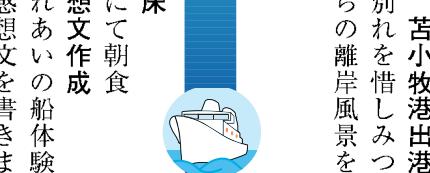
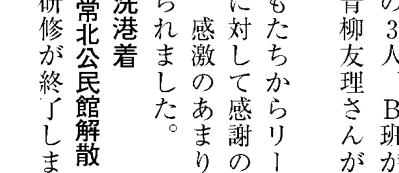
午後4時30分 苫小牧港着・乗船

いよいよ帰りの船です。荷物の整理をしたあと、出港前に食事をとりました。



午後6時30分 苫小牧港出港

北海道との別れを惜しみつつ、デッキからの離岸風景を楽しみました。



午後0時 解散式

午後0時 船内において解散式を行

い、この研修のまとめとしました。参加者代表のあいさつ

は、A班が石塚小学校の小知和涼香さん、江幡望未さん、

小山千穂さんの3人、B班が

北方小学校の青柳友理さんが行いました。

最後に子どもたちからリーダーの高校生に対して感謝のことばがあり、感激のあまり涙する姿も見られました。

午後2時 大洗港着

午後3時30分 常北公民館解散

4泊5日の研修が終了しました。

事業中の反省会報告でも、「集団の中で生活することの良さを実際に身につけられた」「10分前行動5分前集合の約束を学校生活の中でも生かして生きたい」といったことがあげられてきました。

また、引率者である高校生リーダーと子どもたちの間に、「お互いにこの5日間の団体生活でお世話になったことを認め合い、感謝しあう」という気持ちが芽生え、解散式では涙を流し合つてとても印象的な事業となりました。

ふれあいの船事業実施にあたり、保護者説明会及び参加者事前研修会を2回行いましたが、知らない者同士が相互のふれあいを深める中で、集団生活におけるルールやマナー等を身につけることができました。

